

たてばやし

第210号

市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し
引き続き「3密」を避けるように
してください。



新型コロナウイルス感染症情報はこちら↑

9月
定例会

表紙写真を募集しています。
詳しくは、11ページをご覧ください。

旧秋元別邸

令和元年度館林市歳入歳出決算の認定など 12議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし 2～3ページ
- 決算特別委員会 4ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 5ページ
- 一般質問（8人） 6～10ページ
- 常任委員会の審査報告 11ページ
- 正副議長就任あいさつ 12ページ



本会議のあらまし

令和2年館林市議会第3回定例会は、9月4日から24日までの21日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、追加議案も含め議案10件、諮問1件、報告1件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、認定、可決されました。その他、議員提出議案1件、委員会提出議案1件、請願1件の審議が行われました。

また、本会議最終日には正副議長の選挙が行われ、議長に野村晴三議員が、副議長に権田昌弘議員がそれぞれ当選されたほか、群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員及び群馬東部水道企業団議会議員の選挙が行われました。

人事案件

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
Ⅱ人権擁護委員の櫻井博さん（松沼町）の任期が、本年12月31日をもって満了となることから、後任に小林正夫さん（東美園町）を推薦したいとして、人権擁護委員法の規定により、議会に対し意見を求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

▽教育委員会委員の任命について
Ⅱ教育委員会委員の金子千秋さん（足次町）の任期が、本年9月30日をもって満了となるが、引き続き任命したいとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、任命につき全員一致で同意されました。

▽館林市長及び教育長の給料の特例に関する条例Ⅱ新型コロナウイルス感染症対策に伴う本市の財政及び地域経済への影響を踏まえ、本年10月1日から令和3年3月31日までの6か月間、市長の給料月額を30%、教育長の給料月額を20%減額する特例を設けるため、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決され

条例の制定

ました。
本年12月2日をもって任期満了となるが、引き続き選任したいとして、地方自治法の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽館林市長及び教育長の給料の特例に関する条例Ⅱ新型コロナウイルス感染症対策に伴う本市の財政及び地域経済への影響を踏まえ、本年10月1日から令和3年3月31日までの6か月間、市長の給料月額を30%、教育長の給料月額を20%減額する特例を設けるため、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決されました。

条例の改正

▽館林市手数料条例の一部を改正する条例Ⅱ情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、住民基本台帳法及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたこと等に伴い、住民票の除票の写し及び除票記載事項証明書並びに戸籍の附票の除票の写しの交付が制度化されたため、その交付手数料の徴収規定を設けるため、また、個人番号通知カードが廃止されたことに伴い、その再交付手数料に係る規定を削除するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽令和2年度館林市下水道事業会計補正予算（第1号）Ⅱ令和元年度館林市下水道事業特別会計及び館林市農業集落排水事業特別会計の決算調整が完了し、地方公営企業法の適用となる令和2年4月1日時点の資

補正予算

▽専決処分の承認を求めることについて（令和2年度館林市一般会計補正予算（第5号））Ⅱ（全員一致で承認）
▽令和2年度館林市一般会計補正予算（第6号）Ⅱ12億2627万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ386億4040万4000円とするもので、全員一致で可決されました。
▽令和2年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）Ⅱ48万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ79億9560万7000円とするもので、全員一致で可決されました。

産、負債及び資本並びに令和元年度の未収金及び未払金が確定したことから、予算を補正するもので、全員一致で可決されました。

報告

▽令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく判断指標において、まず、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、次に、実質公債費比率は4・9%、将来負担比率は101・9%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての指標において、国の判断基準以下の数値となっているとの報告がありました。

令和元年度決算

▽令和元年度館林市歳入歳出決算の認定について

一般会計の決算の概要は、最終予算額295億9578万5229円に対し、歳入決算額は292億2451万2758円で、予算に対する収入率は98・75%です。また、歳出決算額は272億5642万3211円で、その執行率は92・10%となり、歳入歳出差引額は19億6808万9547円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源3031万3000円を差し引いた実質収支額は、19億3777万6547円で、このうち14億5000万円を財政調整基金に積立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む5億1808万9547円を、翌年度へ繰り越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入80億3527万1755円、歳出80億1849万3245円。下水道事業特別会計が、歳入16億605万8429円、歳出14億8816万1217円。農業集落排水事業特別会計が、歳入5

427万5770円、歳出3898万6961円。介護保険特別会計が、歳入66億2094万1045円、歳出62億9542万3840円。後期高齢者医療特別会計が、歳入9億5471万5686円、歳出9億1762万9004円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

その他

▽群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、野村晴三議員が当選されました。

▽群馬県水道企業団議会議員の選挙

群馬県水道企業団議会議員の選挙が行われ、斉藤貢一議員、野村晴三議員が当選されました。

▽継続調査について

各常任委員長から、議会閉会中の所管行政調査申請書が提出され、本会議にて各常任委員長の申し出のとおり承認されました。

委員会提出議案

▷精神障害者の交通運賃割引制度に関する意見書 (全員一致で可決)

【全文】 障害者基本法は、精神障害者についても身体障害者及び知的障害者と同様に「障害者」と定義しています。

障害者の自立及び社会参加を促進するためには、公共交通機関等における経済的な移動手段が必要不可欠であります。現在、身体障害者、知的障害者に対しては鉄道、バスの運賃や高速道路などの運賃割引制度の実施により、経済的負担の軽減がされていますが、精神障害者は除外されています。

よって、国におかれては、交通運賃割引制度について、交通事業者に対し、精神障害者についても身体障害者、知的障害者と同等に適用となるよう、必要な措置を講ずることを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先=衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、内閣官房長官

議員提出議案

▷新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。また、地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されることから、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方税財源の確保を確実に実現するよう、国に対して意見書を提出しようとするもので、全員一致で可決されました。

請願の審議結果

▷精神障害者の交通運賃に関する請願
精神障害者の交通運賃割引制度の適用に関する意見書が可決されたことにより、みなす採択となりました。

決算特別委員会

9月7日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、14日から16日までの3日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第51号令和元年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数をもって、原案のとおり認定すべきものと議決されました。

総括

急速な少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少や社会保障費の増加、公共施設等の老朽化対策、多発する自然災害への備えなど、地方財政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあり、地方自治体は様々な課題に持続的かつ臨機応変に取り組んでいく必要がある。このような状況の中、本市においては、事業の必要性・効率性・有効性を再点検した上で、財政の健全性に留意しつつ、第五次総合計画に掲げる事業を推進し、持続可能な魅力度の高い強

靱なまちを形成するため様々な施策を実施した。

主な新規事業

- 日本遺産推進事業
日本遺産の認定を受け、館林市「日本遺産」推進協議会を設立し、協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。
- 市庁舎施設整備事業
市庁舎の耐震強度を確保するため、耐震改修工事を開始した。
- 地域で子どもを支えるネットワーク事業
地域における子どもの居場所の確保や、子どもたちを支える体制整備のため、子

どもの総合相談窓口を開設した。

- スマート農業推進プロジェクト事業
農家の担い手不足対策と生産性向上を図るため、ICT（情報通信技術）を活用した農業の実証分析を実施した。
- 工業団地造成事業
大島地区産業団地概略計画等を策定した。
- 防災関係
防災基盤整備のため、防災情報伝達システム実施設計を行った。

- 小学校施設整備事業
第十小学校屋内運動場の大規模改修工事を実施した。
- 中学校施設整備事業
第四中学校普通教室棟及び特別教室棟の屋根改修工事を実施した。

主な継続事業

- 一般廃棄物処理施設整備事業
新しいストックヤード建設のため、本年度は清掃センター焼却処理施設解体工事が完了した。
- 金券発行事業

市民への各種補助金を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図った。

- 幹線排水路整備事業
準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から令和4年度までの19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事50・2mを実施した。
- 中央通り線道路改良事業
平成28年度から令和9年度までの12か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地664・27㎡の取得と12件の補償を実施した。
- 土地区画整理事業
・西部第一南地区
昭和61年度から令和10年度までの43か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事283・0㎡、4戸8棟の建物移転等を実施した。
- ・西部第一中地区
平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場植栽工

- 国土強靱化地域計画策定事業
本市における国土強靱化に関する施策を総合的・計画的に推進するために、「市民・事業者と共に進める館林市強靱化計画」を策定した。
- 三野谷公民館改築事業
三野谷公民館改築工事が完了し、社会教育の拠点施設としてだけでなく、防災設備を兼ね備えた地域防災の拠点施設としてリニューアルオープンした。
- 向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業
東京大学先端科学技術研究センターによる「異才発掘プロジェクトROCKET」と連携し、個性豊かな

事、西部二号線歩道築造工事8・4㎡、区画道路改良工事10・0㎡、1戸3棟の建物移転等を実施した。

- ・西部第二地区
平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事を882・7㎡、2戸2棟の建物移転等を実施した。

- 国土強靱化地域計画策定事業
本市における国土強靱化に関する施策を総合的・計画的に推進するために、「市民・事業者と共に進める館林市強靱化計画」を策定した。
- 三野谷公民館改築事業
三野谷公民館改築工事が完了し、社会教育の拠点施設としてだけでなく、防災設備を兼ね備えた地域防災の拠点施設としてリニューアルオープンした。
- 向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業
東京大学先端科学技術研究センターによる「異才発掘プロジェクトROCKET」と連携し、個性豊かな

令和元年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位：円)

会計別	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引残額
一	一般会計	29,224,512,758	27,256,423,211	1,968,089,547
特別会計	国民健康保険	8,035,271,755	8,018,493,245	16,778,510
	下水道事業	1,606,058,429	1,488,161,217	117,897,212
	農業集落排水事業	54,275,770	38,986,961	15,288,809
	介護保険	6,620,941,045	6,295,423,840	325,517,205
	後期高齢者医療	954,715,686	917,629,004	37,086,682

子どもたちに新しい学びの場の提供や個性に応じた支援を実施した。

○公共下水道整備事業
昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管さよ整備として污水管1345・2m、処理場整備として施設工事委託を実施した。

議員個人の賛否結果一覧表 (令和2年第3回定例会)

議案等名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
		松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	斉藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	推薦につき同意
議案第46号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	同意
議案第47号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	同意
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度館林市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	承認
議案第49号	館林市長及び教育長の給料の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	館林市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	令和元年度館林市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	認定
議案第52号	令和2年度館林市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	令和2年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	令和2年度館林市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
委員会提出議案第2号	精神障害者の交通運賃割引制度に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
※議長選挙が行われ、新議長に野村晴三議員が就任いたしました。																				
議案第55号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	除	○	同意

※遠藤重吉議長及び野村晴三議長は採決に加わりませんので、「—」となっております。 【○：賛成 ●：反対 除：除斥】

市政を問う !!

9月8日

齊藤 貢一 議員 (7ページ)

○第五次総合計画及び総合戦略の成果について

権田 昌弘 議員 (7ページ)

○本市の with コロナ対策について

渋谷理津子 議員 (8ページ)

○戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく活動について
○つつじが岡パークインは、今どこを向いているのか

平井 玲子 議員 (8ページ)

○小中学校における感染症拡大防止対策について
○市庁舎内のペーパーレス化の取組について

9月9日

篠木 正明 議員 (9ページ)

○学校教育における新型コロナウイルス感染症の影響と対策について
○コロナ禍における生活支援について

小林 信 議員 (9ページ)

○コロナ禍における避難対策について
○広島、長崎の被爆から75年が経過する中、「平和と愛の鐘」の活用について

野村 晴三 議員 (10ページ)

○館林市立地適正化計画に沿う地域づくりと地域要望について

吉野 高史 議員 (10ページ)

○新型コロナウイルス感染症の対策等について

一般質問

今定例会における一般質問は、9月8日・9日の2日間にわたり行われ、8人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

※一般質問通告書の質問事項を掲載

スマートフォンやタブレットからも視聴できます!

議会を覗いてみませんか

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/shigikai/>

市議会トップページ➡



←録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/>

なお、各議員の質問の様子は次ページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※9月定例会の会議録は12月上旬頃掲載予定です。





総合計画とまちづくりについて

齊藤 貢一 議員



質問 第五次総合計画も最終年を迎え、第六次総合計画策定に向けて、総合計画審議会が開かれているが、素案審議だけでなく、毎年市長に答申できるように定期的に開催する審議会への移行は可能か伺います。

答 官民一体の共創の理念からすると理想ですが、

条例改正、委員への負担、時間的制約等、移行には課題が多いと認識しています。
質問 後期基本計画と総合戦略では、人口減少と東京一極集中に対応すべく対策を実施したが、その成果は。

答 全国的な問題であり、結果が伴ったとは言えませんが、今後も総合計画、総



本市のWithコロナ対策について

権田 昌弘 議員



質問 公共施設のWiFi整備の現状は、どのようになっているのか。

答 向井千秋記念子ども科学館、つつじが岡公園、駅前観光案内所、第一資料館、田山花袋記念文学館、多々良沼野鳥観察棟の合計6か所が整備済みです。

質問 公民館のWiFi整備

備を行うことになったが、それ以外の公共施設の整備はどうするのか。

答 事業目的や事業内容及び利用状況等を考慮し、検討していきます。

質問 FMラジオを災害発生後に活用する予定だが、平時はどう活用するのか。

答 スタッフの体制を整

合戦略に基づき推進していきたいと考えます。

質問 総合戦略検証委員会については、委員の欠席、代理出席が多く、十分に機能していないと考えるが、委員の選出方法を見直すサイズではないのか。

答 国の指導もあり、産業・行政・教育・金融・労働・メディア等を中心をお願いしている状況です。

質問 総合計画においても行政計画の意味合いが強いので、市民協働の考えから、

え、テスト放送を定期的に行い、認知度を高める必要があります。ボランティアの募集を行い、研修やイベント時のテスト放送の実施を検討していきます。

質問 コミュニティFM局を開設する考えはあるのか。

答 市民のニーズや機運の高まりと費用対効果を見極めて対応していきます。

質問 三密を避けた場所への移転、都心離れの兆しも見えるが、移転等の投げかけは行っているのか。

公共計画への移行が必要である。総合戦略においても、柔軟に市民参加の検証組織を立ち上げていただきたい。そのうえで、今後の総合計画の方向性を伺います。

答 公共的な計画にするという理想もありましたが、急速な改革に合意形成がでるかという議論もあり、素案審議という従来の形をとらせていただきました。

質問 総合計画の将来都市像は、第二次から色々変遷してきましたが、それが実

答 産業団地等の事業化を図り、企業誘致に伴う移住定住者の確保に努めていきたいと考えます。

要望 工場誘致やコロナ移住は、地域連携、協力が重要であり、移住定住につながるためにも、近隣との連携を強化していただきたい。

質問 小規模事業者支援給付金は、国の給付金を申請し、交付された事業者も対象にすべきだと思いが。

答 国の制度対象外の事業者を救済する制度ですの

現できたかという疑問です。立地適正化計画やマスタープランの中では、「ウオーカブルなまちづくり」を前面に出しているが、どのような内容なのか。

答 歩いて住んでも居心地のよいまちをつくるという考え方です。住宅や商店、職場も集積し、昼と夜の人口バランスを考慮したうえで、中央通り線だけでなく、歴史の小径なども含めて居心地のよい空間をつくっていききたいと考えます。

で、ご理解をお願いします。

質問 オンライン授業は、不登校の子どもたちやインフルエンザ等での学級、学校閉鎖の際も有効に機能すると思うが、契約は来年3月までになっており、その後はどうする考えなのか。

答 活用の状況や先生方、児童生徒、保護者からの意見を加味し、来年度以降の継続を検討していきます。

新型コロナウイルス感染症重点対策「政策パッケージ」第3弾 情報へのページはこちら





平和を求めめる活動とパークインの現状について

渋谷 理津子 議員



質問 戦後75年を経過し人口の84・5%が戦後生まれとなるが、遺族会の状況及び平和を求めめる活動は、どのように行われているのか。

答 本市遺族会の会員数は、令和元年度で322名と30年前の約3分の1に減少していますが、同会女性部では、活動内容の周知や

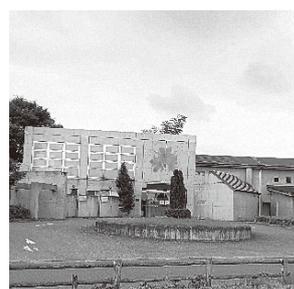
た。平和教育は、学習指導要領に特別な領域がありませんが、各学校の取り組みにより、高齢者や被爆体験者から直接講話を受け学んでいる例もあり、今後の継続が課題となっております。

要望 本市は、非核平和都市宣言をしており、平和の尊さを次世代へつないでいく教育を継続するよう要望します。

質問 長期間休止となっている「つつじが岡パークイン」の建物等の現状、また、

日本遺産「里沼」と本市総合計画の中で、パークインは、どのような位置付けとなっているのか。

答 建物は比較的きれいに保たれ、特段の損傷はありません。総合計画においては、観光客や交流人口の拡大につなげ、地域経済を発展させる拠点施設と考えています。また、日本遺産「里沼」の中でも、つつじが岡や城沼の渡し船など観光資源を代表するものと併せて、パークインも一つの



つつじが岡パークイン

拠点になると考えています。**要望** 本市は何を目標しているのか、混乱しているのではないかと。サイクリングターミナル設置の目的を認識し、どうすれば市民福祉に本当に貢献できるかを再構築するよう要望します。



小・中学校の感染症拡大防止対策と市庁舎内のペーパーレス化の取組について

平井 玲子 議員



小・中学校の感染症対策

質問 消毒作業について、お尋ねいたします。

答 文科省の衛生管理マニュアルに基づき実施しており、具体的には、大勢がよく手を触れる場所などは一日一回消毒を行っています。清掃により清潔な空間を保ち、手洗いを徹底する

ことが重要であるとの考えのもと、引き続き、感染予防に取り組んでいきます。

質問 トイレ及び手洗い場の水栓、蛇口について、お尋ねいたします。

答 蛇口の設置数は、小・中学校16校の合計で約1600個となり、形状のほとんどはハンドル式です。



レバー式の蛇口

質問 レバー式に交換する考えがあるか伺います。

答 レバー式の蛇口は、肘や手の甲で開閉が行え接触を減らすことができるため、感染リスク低減に有効と考えており、交換することを検討してまいります。

ペーパーレス化の取組

質問 市庁舎内の年間の紙購入枚数を伺います。

答 複合機用の用紙は、約355万2500枚、印刷機用の用紙は、約270万枚となります。

質問 購入費と印刷費は。

答 複合機用の紙購入費用は、227万1394円、印刷費用は、複合機829万1173円、印刷機417万1452円となります。**要望** 印刷機の紙は、各課が購入しており、A4のみ

と仮定して計算すると162万円、また、複合機と印刷機の年間紙代と印刷代の合計は、約1636万円となります。ペーパーレス化に取り組んでいる長野県塩尻市は、タブレット会議システムを導入しております。公明党でも地方自治体のデジタル化を着実に進めるために国へ要望書を提出しました。ペーパーレス化は、その効果を市民の皆様に戻元できますので、その取組を強く要望いたします。



学校における新型コロナウイルスの影響と コロナ禍の生活支援について

篠木 正明 議員



質問 長期の休校により、児童生徒にどのような影響が出ていますか。

答 学習の遅れと学力格差の拡大や、児童生徒が不安とストレスにさらされたことによる心理面への影響が出ています。

質問 休校による児童生徒への影響に対して、どのよ

うに対応してきたのですか。

答 学習面においては、一人一人に丁寧な教えることや学習が遅れた児童生徒への個別的な支援を学校に指示してきました。心理面の対応では、学習活動の時間に心のケアに努めています。また、必要に応じて専門家などと連携して、より

丁寧な支援に努めています。

質問 3密を避ける観点から、少人数学級についてどのように考えていますか。

答 3密を避ける上で、少人数学級は大変有効だと考えています。また、クラスを半分以下にした分散登校の時、教員は「児童生徒の話をよく聞くことができ、丁寧な対応ができた」と話していました。児童生徒からも「丁寧に勉強を見てくれた、相談に乗ってくれた」などの声が聞かれました。

質問 コロナ禍の下で、生活保護などの件数はどのようになっていますか。

答 生活保護は大幅に増加していませんが、住居確保給付金と生活福祉資金貸付は急増しています。

質問 厚労省のチラシに「生活保護の申請は国民の権利です」と記載されています。市も「困った時は、ためらわずに生活保護を申請してください」ということを市民に発信すべきと思いますが、いかがですか。

答 生活保護などの支援策については、分かりやすいチラシを作って窓口に置きたいと考えています。

質問 就学援助は昨年に比べ、54人増ですが、対象になる家庭はもつとあると思います。そういう人たちに申請してもらうにはどうしたらよいと考えていますか。

答 周知の方法ですが、6月に保護者に一斉メールしました。今後も学校と協力しながら進めていきたいと思えます。



コロナ禍における避難対策と 被爆75年「平和と愛の鐘」の活用は

小林 信議員



感染症防止の避難所運営

質問 新型コロナウイルス感染症拡大が続く中での避難所運営は、従来と全く違う対応になるが、避難所に医師、看護師、保健師の配置を考えているのか。

また、避難所の運営ではトイレや着替え、授乳などプライバシー保護において、

女性の視点で取り組むことが必要と言われているが、なぜ女性職員の配置が極端に少ないのか。

次に、避難場所の指定がない地域があり、特に三野谷地区は深刻である。車で移動となった場合は渋滞も起こし、避難先の駐車場も混雑する。バス会社と提携

して大型バスで避難することも必要であるが、考えているのか。

答 医師の数が少ないので、避難所は保健師が2人1組の10班集体制で、巡回する方式を考えています。女性の視点が足りない点は、ご指摘のとおりです。で、今後、女性の増員も考えて、現地配備研修等で実施していきます。

バス等を利用した避難や実施方法については、市内

バス業者と平成16年に防災協定を締結済ですので、今後、検討・研究します。

質問 戦後75年「平和と愛の鐘」

質問 広島・長崎の被爆から75年の節目の年だが、昭和63年の非核平和都市宣言の採択を機に、愛と平和の大切さを理解できる心を育てようと、市内の小・中・養護学校に「平和と愛の鐘」が設置されたが、活用については学校だけでなく、社会教育の中でも戦争の悲惨さを将来に受け継いでいく

取組が必要であるが、どのように考えているのか。

答 一学期の終業式の校長の講話で戦争について触れ、「平和と愛の鐘」の設置の意義を伝え、子どもたちが鐘を鳴らして平和の尊さに思いをさせた学校もあったと聞いています。

平和で民主的な市民性を養うため、公民館単位や地区と連携するなど地域と一体となり、鐘の活用を検討したいと考えています。



立地適正化計画に沿う 地域づくりと地域要望について

野村 晴三 議員



質問 公共交通機関を生かした地域づくりの基本的な考え方について伺います。

答 人口減少、少子高齢化が進む中で、地域の活力を維持しながら生活機能を確保し、地域公共交通と連携してコンパクト・プラス・ネットワークという、まちづくりを進めることが必要

と考えています。

質問 成島駅南周辺は計画の中で地域拠点と指定されているが、その内容は

答 地域住民へ日常生活サービスを提供し、その機能の維持・拡充を図り、都市サービスを提供する中心拠点を補完する機能として位置づけています。

質問 市街化調整区域での地区計画や土地利用とは。また、成島駅南側地区の状況はどうなっているのか。

答 地区計画は、地域の目指すまちづくりの方針として、道路や公園等の規模や配置、建物の用途等の整備計画を策定し、地区の環境整備を図るものです。

また、駅南側地区は、大規模指定集落に設定しており、土地利用ガイドラインや地区計画を策定し、地元住民の意見を基に既存集落

と駅周辺の地域を残していきたいと考えています。

質問 成島町区民会館へ機能移転について、当局としての支援等を伺います。

答 区民会館は地域コミュニティの重要な活動拠点と認識しています。市の補助金は300万円です。また、自治総合センターの助成金は1500万円、全国で年間約120件、県内では2、3件が採択されており、この採択に向けた支援

を行いたいと考えます。

質問 新築移転予定地に隣接している土地を公園用地や避難用地として活用したいとの地元要望について、市の見解を伺います。

答 当該用地を市が買収して整備を行うことは、現状では困難ですが、防災面での活用は大変有意義であると認識しています。

今後、地元の皆様と情報共有を行い、協議、調整を図りながら、整備の可能性について検討していきます。

新型コロナウイルス感染症の 対策等について



吉野 高史 議員



質問 PCR検査を受けるための流れと、市内の検査施設及び実績を伺います。

答 一つのルートとして、かかりつけ医に相談し、館林PCR検査センターで検査を受けることができます。

質問 公立館林厚生病院での二次感染防衛体制は。ま

た、感染症に対する医療費は、どこまで公費となるか。

答 厚生病院は、原因を究明し、第三者機関による検証を受け再開しましたので、安心して利用できます。

また、陽性者の入院費は全額公費ですが、退院後の通院費は保険診療となり、自己負担が発生します。

また、陽性者の入院費は全額公費ですが、退院後の通院費は保険診療となり、自己負担が発生します。

質問 新型コロナウイルス感染症による市内各病院、商工業分野への影響と、支援策について伺います。

答 市内各病院、商工業分野ともに経営は大変厳しいものと認識しています。

国は医療従事者に対し、慰労金の給付を決定しました。市ではワンストップ窓口を設置するとともに、市独自の小規模事業者支援給付金制度を設けるなど、診療所なども含めて利用いただ

いています。なお、産業分

野別に定期的に個別訪問し、実態把握に努めています。

質問 教育分野において、学習指導は計画どおりなのか。また、親が離職した場合の子どもの給食費は。

答 学習指導に関する一学期終了時点での調査では、計画より小学校で約7%、中学校で約12%の遅れがあります。また、給食費は、就学援助制度の中で対象となっており、現在8世帯13人が支給を受けています。

質問 感染症にかかった患

者や家族を差別的言動からどのように守るのか。

答 市HP等で正しい情報を発信し、不当な差別・偏見・いじめが起きないように努めていきます。

質問 市長の公用車使用の見直し及びコロナ禍における市長の行政運営方針は。

答 365日勤務と考え、公用車は公私混同せず、適正に使用しています。

今後も感染症対策などの充実を図り、市民の命と健康を守っていきます。

常任委員会の審査報告

総務文教

館林市長及び教育長の給料の特例に関する条例の議案1件が付託され、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市民福祉

議案1件と請願1件が付託され、議案については、館林市手数料条例の一部を改正する条例で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、「精神障害者の交通運賃に関する請願」については、まず、紹介議員の説明に対して質疑を行い、次に、保健福祉部からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、採決の結果、全員一致により採択とし、今定例会に意見書を提出することになりました。そのほか、こども福祉課

から館林市立長良保育園の新入園児受入についての報告がありました。

経済建設

付託された案件は、ありませんでしたが、経済部より、館林市サイクリングターミナル・公園用地の活用提案に関するサウンディング型市場調査の報告がありました。

また、近藤沼公園（近藤二号橋、ジャブジャブ池、バーベキュー場）及び野辺地区ほ場整備事業地の現地視察を実施しました。



近藤沼公園バーベキュー場の現地視察

募集

「市議会だより」の表紙写真

私のベストショット！

市民の皆さんに親しまれ、身近に感じることができ、市議会だよりを目指し、表紙に掲載する写真を募集しています。

○応募期間 随時

○応募資格 館林市内に住、もしくは館林市内に通勤、通学されている方

○応募写真 館林市内で撮影された四季折々の風景、行事など

※応募する際は、募集要項を必ず確認してください。詳細についてはこちらに掲載しています。

応募先・問合せ

議会事務局

議事調査係

(TEL 47-5163)



議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【12月定例会の予定】

- 12月 4日(金) 本会議=会期の決定、議案提案説明など
- 7日(月) 本会議=議案に対する質疑、委員会付託など
- 8日(火)・9日(水) 本会議=一般質問
- 10日(木)・11日(金) 委員会=常任委員会
- 17日(木) 本会議=表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。
☆一般質問の通告順位表は、12月2日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。
(<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒市議会をクリックしてお入りください。)

委員会の構成が変わりました!!

常任委員会委員
合併調査特別委員会委員
議会運営委員会委員
議会報編集委員会委員

9月定例会最終日をもって任期満了となりました常任委員会、合併調査特別委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会の委員の選出が行われ、次のとおりの構成となりました。

(◎委員長、○副委員長)

常任委員会委員

【総務文教】

◎渋谷理津子 ○斉藤 晋一
今野 郷士 野村 晴三 向井 誠
小林 信

【市民福祉】

◎櫻井 正廣 ○平井 玲子
川村 幸人 森田 武雄 吉野 高史
井野口勝則

【経済建設】

◎斉藤 貢一 ○松本 隆志
柴田 信 権田 昌弘 篠木 正明
遠藤 重吉

合併調査特別委員会委員

◎遠藤 重吉 ○渋谷理津子
平井 玲子 今野 郷士 川村 幸人
櫻井 正廣 篠木 正明 向井 誠
井野口勝則

議会運営委員会委員

◎向井 誠 ○川村 幸人
櫻井 正廣 斉藤 貢一 篠木 正明
吉野 高史 遠藤 重吉

議会報編集委員会委員

◎柴田 信 ○今野 郷士
平井 玲子 川村 幸人 向井 誠
井野口勝則 小林 信



権田 昌弘 副議長



野村 晴三 議長

正副議長就任あいさつ

市議会議長 野村晴三
市議会副議長 権田昌弘



市民の皆様におかれましては、日頃より、市政並びに議会活動に對しまして、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申しあげます。さて、先の9月定例市議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、私も二名が議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、責任の重さを痛感いたして

いる次第でございます。現在、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、本市におきましても、市民の安全・安心な生活を守るために様々な施策が行われておりますが、二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても議決機関としての機能と役割を十分発揮し、市民の皆様の付託に応えるべく邁進してま

いりたいと考えております。今後とも、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、市政に反映すべく全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

市議公会派構成

緑水クラブ

○遠藤 重吉

松本 隆志

柴田 信

川村 幸人

斉藤 晋一

渋谷 理津子

権田 昌弘

櫻井 正廣

野村 晴三

公明党

○向井 誠

平井 玲子

日本共産党館林市議団

○小林 信

篠木 正明

虹志会

○井野口 勝則

斉藤 貢一

館林クラブ

○吉野 高史

今野 郷士

無会派

森田 武雄

(○代表者)